

都立高校図書委員が選ぶおすすめ本 大賞 小説部門



「神様のカルテ」

2位

夏川草介／著
小学館 2009

あらすじ：栗原は24時間365日対応の病院に働く青年医師。地域医療の現実には忙しく、厳しい。そんな中、母校の大学医局から誘いがかかり、彼は思い悩む。そんな栗原の背中を押したのは、親しい患者さんだった。

生徒コメント

主人公の名前は栗原一止(くりはらいちと)です。一に止まると書いて「正しい」と読むのです！



大賞

「図書館戦争」シリーズ
有川浩／著 徒花スクモ／イラスト
アスキー・メディアワークス 2006

あらすじ：メディア良化法が施行された近未来。検閲で狩られる本を守る図書館隊に、一人の女子隊員が入隊した！図書館隊は図書館の自由を守れるのか？彼女の憧れの「王子さま」は今いずこ？

生徒コメント

笠原郁さんは、寝る前にチョコレートを食べるとニキビができません。茨城出身ですよ。身長は170センチメートル！美人！



「ハリー・ポッター」シリーズ

2位

J・K・ローリング／著
松岡佑子／訳
表紙画：ダン・ユルツァー
静山社 1999

あらすじ：両親は亡くなり、叔母の家に暮らすハリー。11歳の誕生日に送られてきた Hogwarts 魔法魔術学校への案内。魔法の列車に乗って行きついた先で、ハリーの新たな生活が始まるが…。

生徒コメント

世界が認めたファンタジー大作！魔法の世界の魅力にぐいぐい引き込まれる作品。

気が集中した作家は、

★東野圭吾

「探偵ガリレオ」「プラチナデータ」

★有川浩

「図書館戦争」「キケン」

★山田悠介

「リアル鬼ごっこ」「×ゲーム」

★伊坂幸太郎

「重力ピエロ」「アヒルと鴨のコインロッカー」

他にも、

★「ビブリア古書堂の事件手帖」

三上延／著、アスキー・メディアワークス、2011

★「氷菓」(古典部シリーズ)

米澤穂信／著、角川書店、2001

が健闘したよ！

番外！

少数ですが文豪の作品もあったりして…

★ 太宰治「人間失格」「走れメロス」

★ 夏目漱石「こころ」「坊ちゃん」「草枕」

★ 芥川龍之介「羅生門」



集計を終えて

全体を通してみると、生徒たちに圧倒的な人気があるのが「アスキー・メディアワークス」出版の書籍でした。第一位は「図書館戦争」でしたが、東野圭吾氏も圧倒的な人気を誇っています。東野氏は一冊に集中することなく、多数の書籍が推薦されていました。長く生徒たちに愛される書籍が多数あったことを報告します。

大賞に輝いた二冊は、多くの学校図書館に所蔵されています。初めての試みでしたが、集計作業は楽しい時間でした。ご協力いただいた図書委員に感謝いたします。